

「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針（案）」に対する御意見の概要

意見募集期間：令和2年3月10日～令和2年3月17日

いただいた御意見：13件（1件で複数の内容の御意見が含まれているものもあり）

基本方針（案）に関する御意見

＜獣医師の確保＞

- ・ 未来の獣医療の担い手発掘は、獣医学系大学を志望する年代へ、産業動物臨床や公務員獣医師の存在を広報する必要性を強く感じる
- ・ 地方における小動物獣医療の担い手を確保すべきではないか

＜産業動物分野＞

- ・ 第1の3（2）①について、「診療の適正化・迅速化」を「診療の効率化・迅速化」としてはどうか。診療は既に適正に行われており、産業動物分野での獣医師不足を解消するには「効率化」が大切なキーワードではないか
- ・ 産業動物診療施設等の維持には補助金が必要
- ・ 農場HACCP等認証の進展には、畜産経営体が指導や情報に対して対価を支払うことが当たり前になっていくこと、指導に当たる獣医師の生業としていけるようになっていくことが大切

- ・ 家畜保健衛生所で実施している家畜伝染病の診断について、適切な診断を行うためには、検査の精度管理が必要であることから、家保の精度管理体制の充実や臨床検査技師の活用についても記載すべき
- ・ 一次・二次診療の連携については、馬などの大動物においても同様であることから、産業動物分野においても記載すべき

### ＜産業動物分野、小動物分野共通事項＞

- ・ 人医療の様な休日、夜間の対応体制確立が必要
- ・ 産業動物・小動物とも獣医師のコンプライアンス徹底のため、新規獣医師に限らず、最新の獣医療関係法令の理解醸成を図る機会の確保について記載すべき

### 都道府県計画を策定するにあたっての御意見

- ・ 獣医師の確保目標を設定するのはいいが、短期的、中期的な検証は必須である

### その他の御意見

- ・ 家畜共済制度（診療点数の見直し、家畜診療所の経営の悪化）について（5件）
- ・ 愛玩動物看護師（業務範囲、実務経験を有する者の国家資格の取得）について（2件）
- ・ 動物福祉（動物実験の廃止等）について（2件）
- ・ 実験動物飼育施設における家畜防疫対策について（1件）
- ・ 災害時の対応について（1件）